

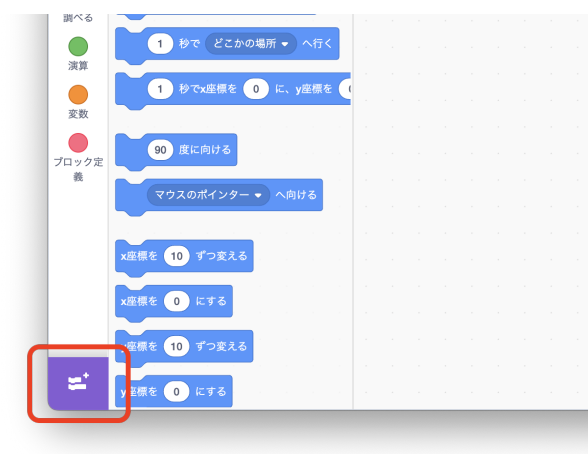
あいかまな きょうしつ 秋鹿学びラボ プログラミング教室

ビデオモーションセンサーを使ってみよう

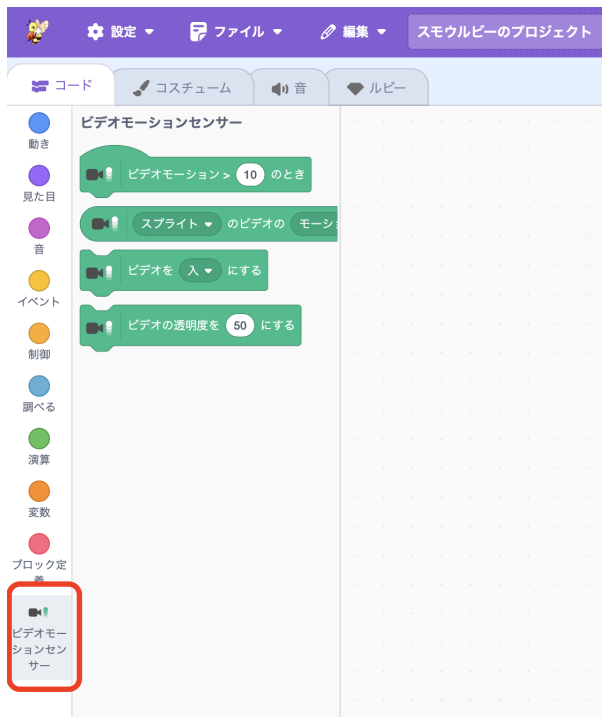
今回は「ビデオモーションセンサー」というものを使ってみましょう。

ビデオモーションセンサーを使うと、カメラに映ったものの動きを調べてプログラミングすることができます。

ビデオモーションセンサーは拡張機能なので、smalrubyの画面左下にあるボタンから選んで使います。



追加するとコードのブロックが選べるようになります。

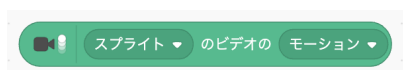


ブロックの説明



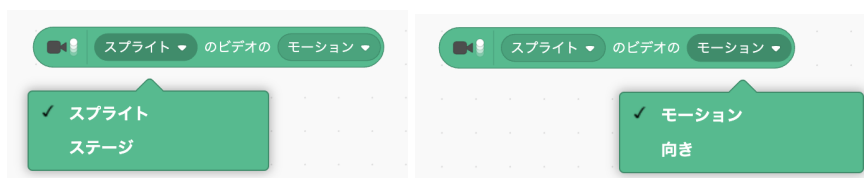
カメラに映っているものの動きの大きさが数値より大きいときにプログラムを動かします。

数字の大きさと動きの大きさがどれくらいでプログラムが始まるかはいろいろ試してみましょう。



ステージまたはスプライトがある場所の動きの大きさと向きが入った変数です。

「スプライト」と「モーショ」のところをクリックすると「ステージ」や「向き」に切り替えることができます。





カメラをつけたり消したりできます。左右を入れ替えることもできます。



カメラで撮影した映像を映すときの透明度を変えることができます。

0 にすると背景が見えなくなり、100 にすると映像が見えなくなります。

ビデオモーションセンサーを使った作品を作ってみよう

それではビデオモーションセンサーを使って作品を作ってみましょう。

どんな作品を作っても良いですが、アイデアが思いつかないときは以下を参考にしてください。

- ビデオモーションセンサーを使うとこんなことができます
 - ネコをなでると「ニャー」と鳴く
 - 楽器にさわると音が鳴る
 - ネコにさわると逃げる
 - 飛んできたボールを手で打つ

できあがったら周りのみんなに見てもらいましょう！